

令和4年度 事業報告

1 総 括

当財団は、昭和61年に設立され、平成25年には公益財団法人に移行し、令和4年度は公益法人移行から10年目の節目の年でした。これまで、県民の総合的な健康づくりを推進するため、生活習慣病等の予防・早期発見等に関する事業を行い、県民の保健・医療及び福祉の向上に努めてきたところです。

新型コロナウイルス感染症への対応は3年目となりました。財団の健（検）診受診者数、検査件数は、令和2年度に新型コロナの影響により大きく落ち込み、ある程度回復した令和3年度から、令和4年度はさらなる回復に向けて取り組みました。しかしながら、これまでにない規模の第7波、第8波の感染拡大があり、結果的に令和4年度も新型コロナの影響を大きく受けこととなりました。

財団の柱である市町村を対象とした地域健診については、健診会場の感染防止対策を徹底し、市町村と一体となって健診の必要性を発信して、受診者数の回復に向けて取り組み、概ね計画どおりの日程で健診を実施することができましたが、受診者数は前年度並みとなり、コロナ禍前の令和元年度と比較すると約85%の水準にとどまりました。

また、新型コロナウイルスワクチンについて、令和4年度も診療所における接種を継続するとともに、希望する市町村に医師や看護師等を派遣しましたが、令和3年度に比べて件数は減少しています。

検査事業については、新型コロナによる地域経済への影響が継続したこと、また、一部の市町村で子宮頸がん検診が隔年実施・有料化されたことなどにより、検査件数は令和3年度を下回りました。

一方、普及啓発事業では、十分な感染防止対策を講じることによって、リレー・フォー・ライフのリレーイベントを4年ぶりに開催するとともに、群馬県地域保健研究発表会を3年ぶりに対面で開催するなど、計画した事業を実施することができました。

このほか、全職員対象の接遇研修を実施するなど、県民から信頼される健診機関であり続けられるよう、職員の資質向上に取り組みました。

2 重点実施事項

(1) 体制整備

① 経営基盤の強化

経営基盤の基礎となる人材の育成に注力したほか、財務状況を常に把握し、経費節減に努めました。

また、市町村をはじめとする関係団体と協力し、受診勧奨等を行うことで、健（検）診受診率向上による収支の改善に努めました。

診療所では、受診者の利便性向上のため、令和5年2月からクレジットカード決済を導入しました。

② 総合的なリスクマネジメント体系の整備

財団が行う医療や各種健診・検査の現場における医療安全管理を組織的に管理し、安全や信頼性の向上に努めました。また、ヒヤリハット事例の報告・周知を徹底し、職員の情報共有を推進しました。

③ 職員の資質向上

全職員を対象に外部講師を招いて接遇研修を実施しました。受診者・利用者の皆様に気持ちよく財団を利用していただけるよう、引き続き、財団全体の接遇力向上に努めます。

また、職員が受講を希望する外部研修の受講料等を助成する「自己研修制度」を新たに設け、多くの職員の自己研鑽を後押ししました。

内部研修 新規採用職員研修、リーダー研修、若手職員研修、

個人情報保護研修、接遇研修、セルフケア研修、医療安全研修等を開催

外部研修 本部三団体（（公財）結核予防会・（公財）日本対がん協会・（公財）予防医学事業中央会）その他団体が主催する各種専門分野 81 の研修会を職員（延べ 149 名）が受講

④ 健康経営優良法人の認定

2021 年以降 3 年連続で健康経営優良法人（大規模法人部門）に認定されました。「県民の健康づくりは職員の健康づくりから」のスローガンのもと、引き続き、ワークライフバランスの実現や健康管理の充実等を図り、職員一人ひとりの心身の健康維持・増進に取り組みます。

⑤ 個人情報の保護

健診機関としての社会的責任を認識し、個人情報保護に努めるため、令和 3 年 7 月に更新したプライバシーマーク（個人情報保護マネジメントシステム：有効期間 2 年間）の認定機関として、個人情報の取扱・管理の徹底を継続実施し、個人情報保護に万全を期しました。

（2）健診検査事業

令和 2 年 5 月に、受診者と健診従事者の感染防止を目的に制定した「新型コロナウイルス感染症県内発生状況下の健診実施基準」については、国や県、関係団体の動きも注視し、適宜見直しを行うことで、安全・安心な健診環境の確保と、着実な健（検）診実施の両立を目指しました。

① 循環器健診

地域健診では、1 町で保健事業見直しのため財団への業務委託が終了となりましたが、新規受託と特定健診の対象拡大が 2 町あり、受診者全体では 5 % の微増となりました。依然、新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、受診者数は令和元年度（コロナ禍前）の約 85 % にとどまりました。

職域健診の受診者数は、前年度並みとなりました。

② がん検診

肺がん検診と前立腺がん検診を1町から新規受託しました。

一方で、根強く残る受診控えの他、1町が保健事業見直しのため、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診の財団への業務委託を終了したことから、各項目の受診者数は前年度並み、あるいは微減となりました。

また、乳房視触診検診（地域）は3市町で廃止となり、令和4年度は10市町村での実施となりました。

③ 保健指導

初回分割型特定保健指導を2町村から新規受託し、計11市町村での実施となりました。循環器健診受診者数が回復傾向にあることもあり、実施数は前年度から22.4%増加しました。

④ 学校保健検査

小学校4年生の心臓検診を1市から新規受託しました。

尿検査、貧血検査等は児童生徒数の減少の影響で、また、寄生虫検査は実施保育園等の減少の影響で、いずれも実施件数は前年度から減少しました。

⑤ 診療所

施設内健診において、人間ドックは前年度並みの受診者数でしたが、前橋市個別健診の胃がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診が令和4年度から隔年実施かつ有料化となった影響が大きく、受診者数は前年度比25~60%の大幅な減少となりました。

⑥ 検査の信頼確保

令和4年8月に計量証明事業登録機関として、また、10月に食品衛生登録機関として、外部団体の立入検査を受けた結果、いずれも指摘事項はありませんでした。今後も、信頼される検査機関としての水準を維持します。

⑦ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する事業

ア ワクチン接種

「連携型接種施設」に当たる当財団診療所では、延べ1,645回のワクチン接種を行いました。

また、集団ワクチン接種を行う市町村の要請に基づき、3町村に対して予診医師、看護師等を派遣しました。

イ P C R 検査

感染拡大が一時期より下火になったことや、ワクチン接種を条件に陰

性証明書を不要とする国が増えたこともあり、唾液によるPCR検査の実施は11件にとどまりました。

(3) 普及啓発事業

① リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま

第10回目に当たる今大会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、10月8日の1日のみの縮小開催としましたが、4年ぶりにリレーイベントを実施しました。50チーム、1,000人を超える参加者が集い、がん患者等への支援と、がん征圧に対する意識の向上を図りました。

企業、関係団体及び個人から多くの協賛金や募金をいただき、その総額は、4,820,212円となりました。

② がん征圧啓発

5月8日にけやきウォーク前橋にて、乳がん検診受診勧奨「母の日キャンペーン」を実施し、自己検診と定期的な乳がん検診の受診を呼びかけました。

また、9月の「がん征圧月間」、10月の「乳がん月間」に合わせて、県庁昭和庁舎や臨江閣（前橋）をそれぞれのシンボルカラーでライトアップしました。

11月3日の第32回ぐんまマラソンへのブース出展や、12月1日のショッピングモールけんしん事業（主催：群馬県）でのリーフレット配布等を通じ、がん検診の定期的な受診の必要性を呼びかけました。

③ 地域保健研究発表会

3月22日に県内地域保健関係者の研究発表の場として、「群馬県地域保健研究発表会（第10回）」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン配信が続いていましたが、今年度は3年ぶりに対面開催とし、当日は8名の発表者が日頃の研究成果を発表し、多くの県内関係者が聴講しました。

④ あさを賞

12月12日、県民の健康増進または疾病予防等に役立つ6件の調査研究に対し、健康づくり研究助成「あさを賞」助成金の交付を決定しました。

(4) 群馬県からの受託事業等

① 「全国がん登録事業」及び「臓器移植推進事業」を引き続き受託し、実施しました。

② 新型コロナウイルス感染症に関する受診、体調不良の相談に対応する「受診・相談センター電話対応業務」を受託し、県庁内コールセンターへ職員を派遣しました。なお、本事業は令和4年度で受託終了となりました。

3 主な出来事

月 日	主 な 出 来 事
5月8日	「乳がん検診受診勧奨 母の日キャンペーン」をけやきウォーク前橋で実施
6月8日	理事会(理事11名・監事2名出席)
6月24日	評議員会(評議員10名出席)、書面理事会(常務理事の選定／理事15名・監事3名)
8月2日	群馬県健康福祉部長表敬訪問(複十字シール募金運動協力依頼)
10月8日	「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま」を開催
11月3日	「第32回ぐんまマラソン」に協賛し、ブースを出展(正田醤油スタジアム)
12月1日	「ショッピングモールけんしん(子宮頸がん検診)」をけやきウォーク前橋で実施
12月12日	健康づくり研究助成「あさを賞」選考委員会(6件の助成を決定)
1月26日	子宮頸がん検診車納車・配車式(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)
2月11日	「がん患者ミーティング2023」をけやきウォーク前橋で開催
3月15日	理事会(理事12名・監事2名出席)
3月22日	「群馬県地域保健研究発表会」を県庁で開催(8題の演題発表)
3月24日	評議員会(評議員15名出席)

4 事業基盤の確立

(1) 賛助会員

区 分	会費(1 口)	会員数(件)	金 額 (円)
法 人 会 員	10,000	51	510,000
団 体 会 員	5,000	41	205,000
個 人 会 員	1,000	20	20,000
合 計		112	735,000

5 事業実績

(1) 普及啓発事業

項目		活動内容
週間月間行事	がん征圧月間 (9月)	年間を通じ、群馬県がん患者団体連絡協議会と連携して啓発キャンペーンを実施しました。 がん征圧月間では、県庁昭和庁舎や臨江閣のライトアップを実施したほか、新聞広告掲載や関係機関へポスター配布(1,450部)等を行いました。
	結核予防週間 (9月24日～30日)	新聞広告掲載や関係機関へポスター配布等を行いました。(ポスター600部、パンフレット1,350部)
	臓器移植普及推進月間(10月)	県庁昭和庁舎や臨江閣でグリーンライトアップキャンペーンを実施しました。 各市町村の成人式でリーフレットを配布して臓器提供に関する意思表示の促進を図りました。(群馬県からの受託事業)
各種啓発イベント等	乳がん検診受診勧奨 母の日キャンペーン	5月8日に行なった「母の日キャンペーン」を実施しました。先着30名に乳がん検診無料クーポンが当たる応募QRコード付のポケットティッシュを配布しながら、自己検診と定期的な乳がん検診の受診を呼びかけました。
	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんま	リレー・フォー・ライフ・ジャパンぐんま実行委員会事務局として、10月8日にALSOKぐんま総合スポーツセンターふれあいグラウンドにおいて、リレー・フォー・ライフ・ジャパン2022ぐんまを開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から規模を縮小し、時間を短縮しての開催としました。 [チャリティー活動の実施 募金総額 4,820,212円]
	ショッピングモール けんしん (群馬県主催)	12月1日に行なった「けんしん」で、県、市町村と連携し、近隣市町村の住民を対象に子宮頸がん検診を実施しました。検診は夜間19時30分まで行われ、延べ129名の方に受診いただきました。当日は、がん検診普及啓発キャンペーンも行われ、当財団も乳がんモデルの設置や啓発資材の配布等をおこして、がん検診受診の重要性を呼びかけました。
	がん患者 ミーティング2023	2月11日に行なった「がん患者ミーティング2023」で、群馬県がん患者団体連絡協議会事務局として、がん患者が中心となってがん患者、家族、支援者、医療従事者が共に集い、がんに強い群馬を目指し、勇気や元気を分かち合うための催しを開催しました。
	群馬県地域保健研究発表会	3月22日に県庁291会議室において、県内の地域保健関係者が、日常業務を通じた調査研究活動から得られた成果を発表する群馬県地域保健研究発表会を開催しました。発表会では、8つの演題が発表されました。
協行賛事	ぐんまマラソン (第32回)	11月3日開催の「第32回ぐんまマラソン」に協賛し、ブースを出展しました。リーフレットの配布等を通じて、参加者・来場者に定期的ながん検診受診の重要性を呼びかけました。
複十字シール運動		結核や肺がん・COPDを含む胸部に関する疾患をなくして、健康で明るい社会を作るため、これらの病気に関する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに、事業資金を集めるために行われる募金活動を実施しました。(結核予防会主催の全国運動)[募金額 2,686,746円]
健康教育資料提供	機関誌発行	機関誌「健やかぐんま(No.36～No.39)」を発行し、各市町村や県内小中高等学校、医療機関、関係団体へ配布しました。 (8ページ構成、8,000部、年4回)
	機関誌等の配布	各種関連団体が発行する機関誌(予防医学ジャーナル(378部)・複十字(1,380部)・対がん協会報(2,640部)・健康の輪(189部))を関係機関に配布し、健康関連情報を提供しました。
	教育資材の貸出	市町村等関係団体に対し、血管年齢測定器(2団体)、血管年齢・ストレス測定器(4団体)、脳年齢測定器(3団体)、活力年齢測定器(1団体)、乳がん触診モデル(1団体)、骨粗鬆症モデル(1団体)を貸し出しました。

(2) 健診検査事業

① 胸部検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
胸部(結核)検診	地域	1,136	1,123	101.2
	職域	29,796	29,362	101.5
	学校	23,686	23,844	99.3
	合計	54,618	54,329	100.5
肺がん検診	地域	95,266	93,472	101.9
	読影受託のみ	8,765	9,356	93.7
	職域	1,554	1,486	104.6
	合計	105,585	104,314	101.2
アスベスト検診		523	552	94.7
じん肺検診		1,026	105	977.1

② 循環器健診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
循環器健診	地域	33,722	31,998	105.4
	職域	37,799	37,031	102.1
	合計	71,521	69,029	103.6
A B C 検査	地域	1,383	1,420	97.4
【特定健診件数内数】 特定健診 詳細項目	心電図検査	10,293	10,692	96.3
	眼底検査	7,841	7,872	99.6
風しん抗体検査	地域・職域	355	550	64.5

③ 胃がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
胃がん検診	地域	18,460	19,746	93.5
	職域	4,479	4,897	91.5
	合計	22,939	24,643	93.1

④ 子宮頸がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
子宮頸がん検診	地域	22,111	22,015	100.4
	職域	1,034	949	109.0
	合計	23,145	22,964	100.8

⑤ 乳がん検診・(甲状腺)検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
視触診検診	地域	4,197	5,577	75.3
	職域	242	440	55.0
	合計	4,439	6,017	73.8
マンモグラフィ検査	地域	19,798	21,101	93.8
	職域	881	884	99.7
	合計	20,679	21,985	94.1
乳房超音波検査		1,404	1,576	89.1
合計		26,522	29,578	89.7

⑥ 大腸がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
大腸がん検診	地域	22,493	23,012	97.7
	職域	2,979	3,022	98.6
	合計	25,472	26,034	97.8

⑦ 前立腺がん検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
前立腺がん検診	地域	12,990	12,518	103.8
	職域	252	194	129.9
	合計	13,242	12,712	104.2

⑧ その他健診

・保健指導(初回面接分割型を除く)

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
特定保健指導	積極的支援	129	148	87.2
	動機付け支援	214	203	105.4
一般保健指導		411	327	125.7
合計		754	678	111.2

・初回面接分割型保健指導

(単位:人)

区分	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
特定保健指導 初回実施数	939	767	122.4
階層化後	積極的支援	241	168
	動機付け支援	581	489
	情報提供	94	82
	医療優先	23	28
			82.1

・健康サポート事業

(単位:件)

区分	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
健康サポート事業	4	2	200.0

・骨密度検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
骨密度検診	地域	2,339	2,101	111.3
	職域	586	68	861.8
	合計	2,925	2,169	134.9

・歯周疾患検診

(単位:人)

区分	対象	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
歯周疾患検診	地域	49	51	96.1
歯科検診	職域	835	792	105.4
唾液検査	地域	85	150	56.7
	職域	294	206	142.7
合計		1,263	1,199	105.3

・心身の健康づくり事業

(単位:人)

区分	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
心身の健康づくり事業	個別カウンセリング	9	4
	ストレスチェック	15,010	14,785
	合計	15,019	14,789

⑨ 腸内細菌等検査

(単位:件)

区分	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
腸内細菌等検査	68,336	69,122	98.9

⑩ 病理検査事業

(単位:件)

区分	内 容	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
病理検査	細胞診検査	31,009	40,710	76.2
	組織診検査	5,425	5,822	93.2
	喀痰細胞診検査	2,166	2,316	93.5
	合 計	38,600	48,848	79.0

⑪ 学校保健検査

(単位:件)

区分	内 容	令和4度実績	令和3年度実績	前年比(%)
学校保健検査	寄生虫検査	150	317	47.3
	尿 検 査	125,142	128,360	97.5
	血 液 検 査	1,587	1,749	90.7
	貧 血 検 査	20,121	21,467	93.7
	心 臓 検 診	62,252	63,108	98.6
	小児生活習慣病健診	3,639	3,905	93.2
	合 計	212,891	218,906	97.3

⑫ 先天性代謝異常検査

(単位:件)

区分	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比(%)
先天性代謝異常検査	初回検査	11,831	12,480
	再検査	998	1,030
	低体重・スクリーニング外	646	619
	先天性甲状腺機能低下症※	18	14
	先天性副腎過形成	6	7
	ガラクトース血症	8	7
	アミノ酸代謝異常症	7	4
	有機酸代謝異常症	4	1
	脂肪酸代謝異常症	2	2
	計	45	35

※ 令和4年度実績:群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院の甲状腺機能低下症検査の再検査4名を含む。

令和3年度実績:群馬大学医学部附属病院、前橋赤十字病院の甲状腺機能低下症検査の再検査2名を含む。

⑬ 食品検査

(単位:件)

区分	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比(%)
食 品 檢 査	12,888	13,194	97.7

⑭ 水質検査

(単位:件)

区分	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比(%)
水 質 檢 査	18,661	19,467	95.9

⑮ 診療所健診

(単位:人)

区分	内 容	令和4年度実績	令和3年度実績	前年比(%)
精密検査	胃がん	39	46	84.8
	大腸がん	16	31	51.6
	乳がん・(甲状腺)	329	322	102.2
	その他の	457	515	88.7
施設内健診	合 計	841	914	92.0
	日帰り人間ドック	1,718	1,701	101.0
	その他健康診断	12,202	13,868	88.0
	合 計	13,920	15,569	89.4
新型コロナウイルスワクチン接種		1,645	6,755	24.4

がん登録状況(暦年)

(単位:件)

区分	登録の状況		届出の状況	
	罹患数		届出票の届出数	病院及び診療所数
平成6年	6,303		2,648	92
平成10年	6,513		5,101	79
平成20年	12,111		7,738	74
平成25年	14,407		19,213	99
平成26年	14,727		19,797	97
平成27年	15,092		20,982	93
平成28年	16,255		13,471	80
平成29年	16,482		26,559	95
平成30年	16,269		23,138	110
令和元年	16,630		23,221	109
令和2年			24,725	101
令和3年			22,655	101
令和4年			24,670	97
累計(平成6年～令和4年)	258,085		365,077	2,385

注:「登録の状況」平成25年以降の件数については、地域がん登録から全国がん登録に移行したため、国(国立がんセンター)により集計されています。

注:平成6年から実施。平成7年～9年、平成11年～平成19年、平成21年～24年は記載省略。